



## 震災対応における金沢大学

### ① 震災に対する学術的支援

- ・理工研究域環境デザイン学系教授及び同助教による現地調査（計3回）
- ・理工研究域物質化学系教授，学際科学実験センター教授を中心とした放射線測定チームによる大気浮遊粉じん試料，土壌試料の放射線測定
- ・医薬研究域薬学系教授を中心に放射性物質に汚染された水进行处理するための研究チームを設置
- ・がん進展制御研究所において，研究室等が被災し，研究の遂行に支障をきたしている研究者に対し「共同研究（被災研究者支援）」を募集
- ・学内の震災復興に関する研究3件に対して学内助成金の交付を決定（8/5）

### ② 被災地医療を支える金沢大学病院

- ・DMATの派遣（拠点：仙台医療センター，2回）
- ・医療救護チームの派遣（石巻市，6回）
- ・医師派遣（筑波大学，2回）
- ・緊急時被ばくスクリーニングに係る対応者を派遣

### ③ 専門家の派遣

- ・医薬保健研究域教授，講師を死体検案及び身元確認のため，宮城県，福島県に派遣
- ・医薬保健研究域教授を作業療法活動のため，宮城県に派遣
- ・こどものこころの発達研究センター技術職員をスクールカウンセラーとして宮城県に派遣

### ④ 本学教職員，学生，生徒の奉仕精神

- ・教職員からの義援金の募集
- ・附属高等学校，附属中学校，附属特別支援学校における義援金の募集
- ・ボランティアグループ「灯」が米沢市で足湯，越前高田市で足湯，炊き出し，海岸清掃，瓦礫撤去を実施（計4回）

### ⑤ 震災に関する物的支援，情報発信

- ・福島大学，山形大学，東北大学への救援物資の送付
- ・附属中学校の椅子・机160セットを福島県教育庁の依頼に応じ提供
- ・講演会「東北地方太平洋沖地震の石川県の地震・津波防災に関する講演会」の実施（4/9）
- ・講演会「福島第1原子力発電所の事故と放射線被ばくについて」の実施（4/28）
- ・金沢大学市民セミナー「石川県の地震と津波」の実施（6/11）

## ⑥ 教職員，学生へのサポート

- ・教職員，幼児，児童，生徒に対する安否確認
- ・甚大な被害にあった市町村に実家がある学生の安否確認
- ・留学生全員の安否確認
- ・全ての在学学生に対して携帯電話を活用した緊急時連絡システム（C-SIREN）を利用した安否確認
- ・教職員からの義援金の一部を学資負担者，実家が被災した在学学生（28人），卒業生（1名）に見舞金として支給
- ・義援金の残額及び利子（6,035,139円）を全額日本赤十字社に寄託
- ・被災学生の入学料免除（2名），平成23年度前期授業料免除（9名）を実施